

# 令和7年度 第2回伊予市地域公共交通活性化協議会 (伊予市地域公共交通会議)

【日程】 令和8年1月8日発送

【摘要】 書面による開催

## 1 審議事項

第1号議案 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について  
(事業対象期間：令和6年10月～令和7年9月)

### 【別添1】

「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」

補助対象事業者ごとの事業評価を記載しています。概ね目標を達成しており、今後も引き続き状況把握をしながら内容等について検討していきますので、ご確認ください。

### 【別添1-2】

「事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について」  
内容をご確認ください。

### 【その他】

「事業の概要資料(全4ページ)」  
内容をご確認ください。

## 2 令和5年度伊予市地域公共交通活性化協議会審議結果(委員21人中)

第1号議案 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について  
承認する 21人 承認しない 0人

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月8日

協議会名:伊予市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)伊予観光タクシー	路線定期運行のコミュニティバス運行 ・八倉線 ・唐川線(鶴崎) ・唐川線(本谷) ・唐川線(長崎谷) ・平岡線	前回事業評価無し(新規)	A 計画通り事業は適切に実施された。	<八倉線> 【目標達成率】 <b>93%</b> (目標:3,900人/年) 【利用者数】3,625人/年 (前年利用者数:3,020人) 【1便あたり利用者数】4.9人 【収支率】9.6%  <唐川線(鶴崎)> 【目標達成率】 <b>84%</b> (目標:2,200人/年) 【利用者数】1,853人/年 (前年利用者数:1,660人) 【1便あたり利用者数】7.8人 【収支率】18.9%  <唐川線(本谷)> 【目標達成率】 <b>99%</b> (目標:800人/年) 【利用者数】788人/年 (前年利用者数:630人) 【1便あたり利用者数】6.2人 【収支率】8.2%  <唐川線(長崎谷)> 【目標達成率】 <b>117%</b> (目標:900人/年) 【利用者数】1,055人/年 (前年利用者数:670) 【1便あたり利用者数】8.7人 【収支率】10.8%  <平岡線> 【目標達成率】 <b>100%</b> (目標:800人/年) 【利用者数】806人/年 (前年利用者数:650) 【1便あたり利用者数】6.2人 【収支率】8.5%	運転免許証自主返納者に対して回数券交付支援について継続して実施する。 利用方法や乗降場所、バス路線図等をまとめた公共交通マップの配布を促進し、利用促進を図る。 運行事業者との連携を密にし、利用者の声を反映できるよう利用しやすい制度の模索を継続する。 また、新たな利用者の獲得を模索しつつ、よりよい地域公共交通を目指し利用者や事業者に聞き取りを行うなど、利便性向上に向け協議していく。
(有)松前交通タクシー	路線定期運行のコミュニティバス運行 ・三秋線(事業者途中変更) ・上三谷線 ・下三谷線 ・稲荷線	前回事業評価無し(新規)	A 計画通り事業は適切に実施された。	<三秋線> 【目標達成率】 <b>50%(合算:103%)</b> (目標:4,100人/年) 【利用者数】2,060人/年 (前年利用者数:3,150人) 【1便あたり利用者数】5.8人 【収支率】11.8% (事業者途中変更:~R7.3末) ※数値は事業者実施分のみ  <上三谷線> 【目標達成率】 <b>100%</b> (目標:700人/年) 【利用者数】706人/年 (前年利用者数:570人) 【1便あたり利用者数】1.4人 【収支率】10.8%  <下三谷線> 【目標達成率】 <b>119%</b> (目標:900人/年) 【利用者数】1,072人/年 (前年利用者数:660人) 【1便あたり利用者数】2.2人 【収支率】16.4%  <稲荷線> 【目標達成率】 <b>60%</b> (目標:900人/年) 【利用者数】537人/年 (前年利用者数:690人) 【1便あたり利用者数】1.1人 【収支率】8%	運転免許証自主返納者に対して回数券交付支援について継続して実施する。 利用方法や乗降場所、バス路線図等をまとめた公共交通マップの配布を促進し、利用促進を図る。 運行事業者との連携を密にし、利用者の声を反映できるよう利用しやすい制度の模索を継続する。 また、新たな利用者の獲得を模索しつつ、よりよい地域公共交通を目指し利用者や事業者に聞き取りを行うなど、利便性向上に向け協議していく。 なお、目標達成率の低い稲荷線について、令和7年の4月に路線見直しを実施し、現在、利用者は微増傾向にあるため、今後、状況をみながら検証していく。

<p>(有)どるばハイヤー</p>	<p>路線定期運行のコミュニティバス運行 ・三秋線(事業者途中変更) 双海地区デマンドタクシーの区域運行</p>	<p>前回事業評価無し(新規)</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>&lt;三秋線&gt; 【目標達成率】 <b>53%(合算103%)</b> (目標:4,100人/年) 【利用者数】2,163人/年 (前年利用者数:3,150人) 【1便あたり利用者数】2.7人 【収支率】8.9% (事業者途中変更:R7.4~) ※数値は事業者実施分のみ</p> <p>&lt;双海地区デマンドタクシー&gt; 【目標達成率】<b>83%</b> (目標:2,000人/年) 【利用者数】1,651人/年 (前年利用者数:1,900人) 【1便あたり利用者数】1.2人 【収支率】4%</p>	<p>運転免許証自主返納者に対して回数券交付支援について継続して実施する。 デマンドタクシーの利用方法や乗降場所をまとめた公共交通マップの配布を促進し、利用促進を図る。 また、新たな利用者の獲得を模索しつつ、よりよい地域公共交通を目指し利用者や事業者に聞き取りを行うなど、利便性向上に向け協議していく。</p>
<p>(有)日光タクシー</p>	<p>中山地区デマンドタクシーの区域運行</p>	<p>前回事業評価無し(新規)</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>&lt;中山地区デマンドタクシー&gt; 【目標達成率】<b>100%</b> (目標:2,400人/年) 【利用者数】2,397人/年 (前年利用者数:2,300人) 【1便あたり利用者数】1.1人 【収支率】5.7%</p>	<p>運転免許証自主返納者に対して回数券交付支援について継続して実施する。 デマンドタクシーの利用方法や乗降場所をまとめた公共交通マップの配布を促進し、利用促進を図る。 また、新たな利用者の獲得を模索しつつ、よりよい地域公共交通を目指し利用者や事業者に聞き取りを行うなど、利便性向上に向け協議していく。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和8年1月8日

協議会名:	伊予市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>伊予市においては、幹線交通である鉄道を軸に、伊予地域広範にコミュニティバス、中山地域、双海地域を運行区域としたデマンドタクシーにより構成される公共交通機関網が広がっている。これらの公共交通については、市内の総合病院や、大規模な商店等へのアクセスを確保し、車を運転できない高齢者、免許返納者等の通院や買い物を支え、市民の日常生活を担う必要不可欠な交通として維持し続ける必要がある。</p> <p>しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、当市の公共交通機関の利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。</p> <p>また、山間部付近の集落はそもそも交通手段が確保されていないため、住民に不便を強いている状況にある。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、支線の役割を果たすコミュニティバス、デマンドタクシーを確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>

# 伊予市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統  
事業評価(令和7年度)

## 伊予市基礎データ

合併状況：平成17年4月に1市2町が合併  
人口：3.3万人（令和7年12月1日現在）  
面積：194.43平方キロメートル

## 地域の交通の目指す姿（事業実施の目的・必要性）

別添1－2参照

## 伊予市における主な公共交通概要

（幹線）

●鉄道・軌道

四国旅客鉄道 予讃線（内子線、愛ある伊予灘線）  
南伊予駅 - （松前町） - 鳥ノ木駅 - 伊予市駅 - 向井原駅 - 伊予大平駅 - 伊予中山駅 - 向井原駅 - 高野川駅 - 伊予上灘駅 - 下灘駅 - 串駅

伊予鉄道 郡中線

新川駅 - 郡中駅 - 郡中港駅

（準幹線）

●バス

伊予鉄バス  
八幡浜・三崎特急線

宇和島バス 松山線  
松山線 城辺・宿毛線

（フィーダー）

コミュニティバス（路線定期運行） 伊予地域  
デマンドタクシー（区域運行） 双海地域、中山地域

## 伊予市の公共交通ネットワーク図



# 伊予市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統  
事業評価(令和7年度)

## 協議会の構成員

伊予鉄バス株式会社 伊予鉄南予バス株式会社 社団法人愛媛県バス協会 中予タクシー協会 愛媛県ハイヤー・タクシー協会 伊予鉄労働組合 四国旅客鉄道(株) 伊予鉄道(株) 伊予市広報区長協議会 伊予市広報区長協議会 伊予市広報区長協議会 男女共同参画基本計画策定審議会 伊予市老人クラブ連合会 伊予市社会福祉協議会 四国運輸局愛媛運輸支局 四国運輸局愛媛運輸支局 国土交通省四国地方整備局 松山河川国道事務所 愛媛県中予地方局 伊予警察署

## 前年度の事業評価における課題

前年度の事業評価なし

## 定量的な目標・効果

### コミュニティバス

八倉線の年間利用者数を3,900人/年以上(直近年度の実績3,020人/年)とする。  
三秋線の年間利用者数を4,100人/年以上(直近年度の実績3,150人/年)とする。  
唐川線(鷺崎)の年間利用者数を2,200人/年以上(直近年度の実績1,660人/年)とする。  
唐川線(本谷)の年間利用者数を800人/年以上(直近年度の実績630人/年)とする。  
唐川線(長崎谷)の年間利用者数を900人/年以上(直近年度の実績670人/年)とする。  
平岡線の年間利用者数を800人/年以上(直近年度の実績650人/年)とする。  
上三谷線の年間利用者数を700人/年以上(直近年度の実績570人/年)とする。  
下三谷線の年間利用者数を900人/年以上(直近年度の実績660人/年)とする。  
稲荷線の年間利用者数を900人/年以上(直近年度の実績690人/年)とする。

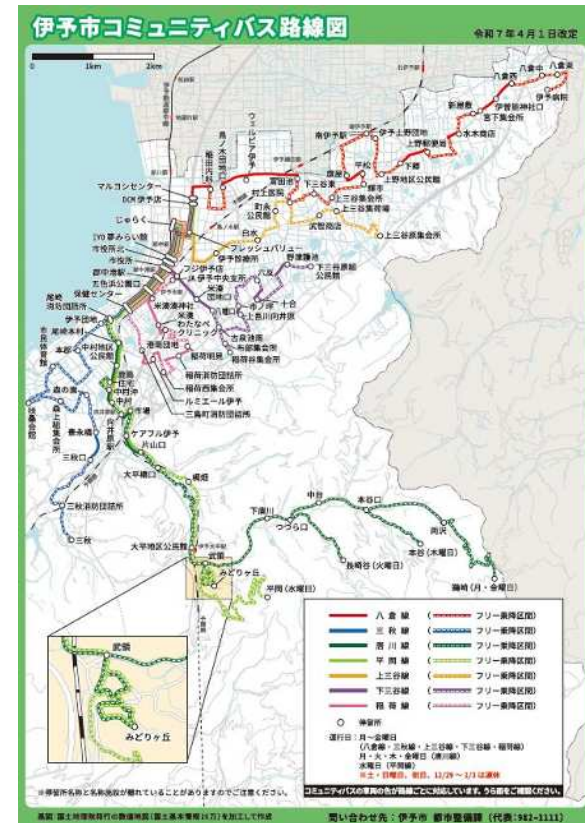
コミュニティバスの収支率を10.0%以上(直近年度の実績7.8%/年)とする。  
コミュニティバスの公的負担額を25,200千円/年以下(直近年度の実績25,800千円/年)とする。

### デマンドタクシー

デマンドタクシー(中山地区)の年間利用者数を2,400人/年以上(直近年度の実績2,300人/年)とする。  
デマンドタクシー(双海地区)の年間利用者数を2,000人/年以上(直近年度の実績1,900人/年)とする。  
デマンドタクシーの公的負担額を27,000千円/年以下(直近年度の実績27,000千円/年)とする。  
デマンドタクシーの収支率を4.4%以上(直近年度の実績4.3%/年)とする。

## フィーダー系統図

### 伊予市 コミュニティバス



### 伊予市 デマンドタクシー



## 「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

- 令和5年4月21日 (第1回) 協議会設立、事業内容について協議
- 令和5年8月31日 (第2回) 伊予市地域公共交通計画について
- 令和5年12月20日 (第3回) 現状と課題の確認、アンケート結果報告
- 令和6年2月20日 (第4回) 計画全体について合意
- 令和6年3月25日 (第5回) 地域公共交通計画の協議・承認
- 令和6年10月10日 (第1回) 昨年度事業報告、評価、事業説明
- 令和6年12月17日 (第2回) コミュニティバスの路線及びダイヤの見直しについて合意
- 令和7年6月30日 (第1回) 事前の書面決議にて令和8年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請・承認

## 自己評価

### 事業実施の適切性

- 市民の日常生活を担う必要不可欠な交通として、コミュニティバス・デマンドタクシーを維持することを目標に掲げていたが、年間を通して大きなトラブルもなく適切に実施運行された。
- 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

### 今後の事業に向けた改善点

- 利用者ニーズに合わせた路線や移動形態となるよう、定期的な見直しや意見交換を継続して行っていく。
- 地域公共交通の認知度が上がってきているため、今後は、地域資源との連携を深め、市内循環を高めていくことを検討していく。
- 住宅地を通る路線について、利用者が少ないことが浮き彫りとなったため、潜在的な利用者へのアプローチ方法を考えることや、便数の変更等を検討していく。

### 「定量的な目標・効果」の達成状況

5/11路線で目標を達成し、9/11路線で前年より多くの利用があった。

#### ● 伊予市デマンドタクシー

##### <八倉線>

【目標達成率】93% (目標：3,900人/年) 【利用者数】3,625人/年 (前年利用者数：3,020人) 【1便あたり利用者数】4.9人 【収支率】9.6%

##### <唐川線(鶴崎)>

【目標達成率】84% (目標：2,200人/年) 【利用者数】1,853人/年 (前年利用者数：1,660人) 【1便あたり利用者数】7.8人 【収支率】18.9%

##### <唐川線(本谷)>

【目標達成率】99% (目標：800人/年) 【利用者数】788人/年 (前年利用者数：630人) 【1便あたり利用者数】6.2人 【収支率】8.2%

##### <唐川線(長崎谷)>

【目標達成率】117% (目標：900人/年) 【利用者数】1,055人/年 (前年利用者数：670) 【1便あたり利用者数】8.7人 【収支率】10.8%

##### <平岡線>

【目標達成率】100% (目標：800人/年) 【利用者数】806人/年 (前年利用者数：650) 【1便あたり利用者数】6.2人 【収支率】8.5%

##### <三秋線> (事業者途中変更：年度変更) 上段：～令和6年度、下段令和7年度～

【目標達成率】50% (目標：4,100人/年) 【利用者数】2,060人/年 (前年利用者数：3,150人) 【1便あたり利用者数】5.8人 【収支率】11.8%

【目標達成率】53% (目標：4,100人/年) 【利用者数】2,163人/年 (前年利用者数：3,150人) 【1便あたり利用者数】2.7人 【収支率】8.9%

(合算) 103%

##### <上三谷線>

【目標達成率】100% (目標：700人/年) 【利用者数】706人/年 (前年利用者数：570人) 【1便あたり利用者数】1.4人 【収支率】10.8%

##### <下三谷線>

【目標達成率】119% (目標：900人/年) 【利用者数】1,072人/年 (前年利用者数：660人) 【1便あたり利用者数】2.2人 【収支率】16.4%

##### <稻荷線>

【目標達成率】60% (目標：900人/年) 【利用者数】537人/年 (前年利用者数：690人) 【1便あたり利用者数】1.1人 【収支率】8%

#### ● 伊予市デマンドタクシー

##### <双海地区>

【目標達成率】83% (目標：2,000人/年) 【利用者数】1,651人/年 (前年利用者数：1,900人) 【1便あたり利用者数】1.2人 【収支率】4%

##### <中山地区>

【目標達成率】100% (目標：2,400人/年) 【利用者数】2,397人/年 (前年利用者数：2,300人) 【1便あたり利用者数】1.1人 【収支率】5.7%

### その他PRポイント

- 伊予市では、地域公共交通計画の改定(令和6年度)にあたって、公共交通の課題を把握し、持続的な移動の確保を実現するため、住民の移動ニーズや利用障壁等の調査を実施。
- 調査結果を元に、コミュニティバスの路線再編を実施、利用者増に繋がった。